

授業科目	授業番号： 184		担当者	小林 朋子			
	比較文学		授業外対応	適宜対応（要予約）			
	[履修年次]	[学期]	[単位]	[必修／選択]			
	1,2 年	前期	2 単位	選択			
【授業形態】 講義方式							
テーマ及び概要	<p>【テーマ】「対話」的文学論で読む世界の文学</p> <p>【概要】現代アメリカを代表する作家トニ・モリソンの『ビラヴド』と、世界各国の様々な時代またジャンルの文学を比較検討することで、人類の文化の全体像にせまる。本講義が基本姿勢としているのは、ロシアの思想家バフチンが述べた「対話」の概念である。あるイデオロギーの存在を認めつつ、それとは対立する別のイデオロギーの存在も容認することを彼は促したが、本講義ではこの「対話」の思想をベースに各国の文学を対等な関係に置いて、その衝突、交流、混合を比較検討する。履修者は授業で紹介するテクストを丁寧に読み、そこから問題点を抽出し、その</p> <p>【到達目標】比較文学の研究方法を習得する。図書の構造的読解力、情報を調査し活用する能力を向上させる。</p>						
(1)テキスト (2)参考文献	(1) プリント (2) Toni Morrison Beloved Plume-Penguin Putnam, 1998. 左記以外も授業で隨時紹介します。						
授業スケジュール	第 1回 イントロダクション：対話的文学論とは 第 2回 Beloved と神話批評 第 3回 Beloved とウィネバゴ・インディアン神話（1） 第 4回 Beloved とウィネバゴ・インディアン神話（2） 第 5回 Beloved とヨルバ族神話 第 6回 大衆文化の中のトリックスター 第 7回 名称付与とは何か 第 8回 Beloved と「千と千尋の神隠し」（1） 第 9回 Beloved と「千と千尋の神隠し」（2） 第 10回 Beloved と「千と千尋の神隠し」（3） 第 11回 言語の表象不可能性 第 12回 Beloved と井上ひさし『父と暮せば』（1） 第 13回 Beloved と井上ひさし『父と暮せば』（2） 第 14回 Beloved と井上ひさし『父と暮せば』（3） 第 15回 レポートのテーマ報告会とまとめ						
授業外学習 (予習・復習)	適宜指示する。						
成績評価の方法	授業への参加態度（10%）、テーマごとに提出する小レポート（30%）、最終レポート（60%）						
実務経験について	なし						